

会派研究研修報告書

令和7年3月25日

常滑市議会議長 加藤久豊 殿

会 派 名 新政あいちとこなめ  
会派の代表者 成田 勝之

会派等の研究研修報告を次のとおり提出します。

記

- 1 期 日 令和7年1月28日（火）～29日（水）
- 2 視察地 1月28日（火）  
愛媛県東温市  
「移住定住促進マスタープランの策定、移住コンシェルジュによるワンストップの対応について」  
  
1月29日（水）  
愛媛県松山市  
①「”直結給水方式”水飲み場『のめるん』について」  
②「松山観光コンベンション協会の目的と経緯、役割等について」
- 3 視察者 成田 勝之
- 4 行 程 別紙1のとおり
- 5 視察経費 別紙2のとおり

## 令和 6 年度 新政あいちとこなめ 視察報告書

## 1. 令和 7 年 1 月 28 日 (火)

## 視察地

愛媛県東温市「移住定住促進マスタープランの策定、移住コンシェルジュによるワンストップの対応について」

令和 7 年 1 月 29 日 (水)

## 視察地

愛媛県松山市①「”直結給水方式”水飲み場『のめるん』について」

愛媛県松山市②「松山観光コンベンション協会の目的と経緯、役割等について」

## 2. 視察者

成田 勝之

## 3. 視察行程表

令和 7 年 1 月 28 日 (火)

09 時 40 分	常滑駅	名古屋鉄道 中部国際空港行き
10 時 45 分	中部国際空港発	ANA1823 便
12 時 20 分	松山空港着	
12 時 30 分	松山空港発	伊予鉄空港リムジンバス (松山市駅行)
13 時 06 分	松山市駅発	伊予鉄道横河原線 (横河原行)
13 時 32 分	見奈良駅着	東温市役所まで徒歩 5 分
14 時 00 分	昼食	東温市内
14 時 30 分 16 時 00 分	東温市役所視察	東温市役所 〒791-0211 愛媛県東温市見奈良 530-1 TEL 089-964-2001
16 時 32 分	見奈良駅発	伊予鉄道横河原線 (高浜行)
16 時 58 分	松山市駅着	
17 時 03 分	松山市駅発	伊予鉄道松山市駅線 (道後温泉行)
17 時 11 分	大街道駅着	ホテルまで徒歩で 5 分
17 時 20 分	ホテル着	ANA クラウンプラザホテル松山 〒790-0001 愛媛県松山市一番町 3-2-1 TEL 089-933-5511
18 時 30 分	夕食	松山市内

令和7年1月29日（水）

09時00分	ホテル発	
09時30分 11時30分	松山市視察①	松山市役所 第4別館 〒780-8571 愛媛県松山市三番町四丁目6番地1 TEL 089-948-6980
11時30分	松山市役所発	徒歩で移動
12時00分	昼食	松山市内
14時00分 15時30分	松山市視察②	公益財団法人 松山観光コンベンション協会 〒790-0004 愛媛県松山市大街道3丁目2-46 松山城山ロープウェイ駅舎2階 TEL 089-935-7511
16時03分	大街道発	伊予鉄道松山市駅線（松山市駅行）
16時11分	松山市駅着	
16時55分	松山市駅発	伊予鉄空港リムジンバス（松山空港行）
17時12分	松山空港着	
20時10分	松山空港発	ANA1828便
21時10分	中部国際空港着	
21時47分	中部国際空港発	名古屋鉄道 名鉄岐阜行き
21時50分	常滑駅着	

## 令和6年度 新政あいちとこなめ 視察費

	単価	人数	合計		備考
1月28日(火)					
交通費(伊予鉄リムジンバス)	780	1	780		松山空港から松山市駅
交通費(伊予鉄道)	550	1	550		松山市駅から見奈良駅
交通費(伊予鉄道)	550	1	550		見奈良駅から松山市駅
交通費(伊予鉄道)	210	1	210		松山市駅から大街道駅
1月29日(水)					
交通費(伊予鉄バス)	210	1	210		大街道駅から松山市駅
交通費(伊予鉄バス)	780	1	780		松山市駅から松山空港
交通費(ANA)		1			松山空港から中部国際空港
航空費及び宿泊費	43,300	1	43,300		ANA1823便、ANA1828便、ANAクラウンプラザホテル松山
手土産代	1,603	1	1,603		
合計		1	47,983		

宿泊費は実費計上

# 「移住定住促進マスタープラン の策定、移住コンシェルジュに よるワンストップの対応につい て」

令和7年1月28日（火）

対応者

産業建設部 地域活力創出課長

桑原 和宏 氏

同 課長補佐 杉原 慎一郎 氏

同 地域振興係 係長 宮崎 朋子 氏

同 地域振興係 主査 安井 龍也 氏

議会事務局長 高須賀 章夫 氏

同 次長 渡部 裕二 氏

## 愛媛県東温市概要

平成16年9月21日、重信町と川内町が合併し誕生。松山市近郊の田園都市。

将来像

「小さくてもキラリと光る住んでみたい  
住んでよかった 東温市」

TO the future ON the town

～未来へ歩もう このまちで～

令和6年4月1日現在

人口3万2,974人 世帯数1万5,782世帯  
面積 211.30 km<sup>2</sup>

令和6年度当初予算

一般会計 195億円

財政力指数 0.473

議員定数 15人



東温市は平成21年をピークに人口が減少傾向にある。国立社会保障・人口問題研究所の将来人口推計では平成29年（2017年）2月時点での人口33,520人から平成72年（2060年）29.5%にあたる9,889人減少すると予測された。

人口減少に対応するために魅力ある「まち」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼ぶ好循環を確立することで人口減少に歯止めをかけ、「元気な東温市」を将来にわたって維持することを目的に「東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定。同時に策定した、東温市人口ビジョンにおいて令和7年度時点での将来人口展望を3万4,000人とした。社会保障・人口問題研究所の推計値では3万3,000人であった。（令和7年1月末日現在 3万2,963人）

平成29年3月策定の「東温市 移住定住促進マスタープラン」では重要要素としてナンバーワン戦略とオンリーワン戦略の二つの考え方を採用。

比較の中で住む地域を決める「比較型」についてはナンバーワン戦略を、決め打ちで住む地域が決まる「決め打ち型」にはオンリーワン戦略をそれぞれについて実施した。

ナンバーワン戦略ではまずはいかに東温

市の名前を知ってもらうかが大事で、その戦略として、同市出身のアイドル清原理央さんを主演とするシティプロモーションミュージックビデオ「東温ラブストーリー」を制作。(Y o u T u b e再生 10 万回以上。)

オンリーワン戦略では坊ちゃん劇場や東温アートビレッジセンターを軸とする舞台芸術に特化した戦略を実施。市政 20 周年記念事業として市民ミュージカルを実施。

平成 27 年度から移住定住総合窓口を設置。移住コンサルジュとして、現在は女性 2 名。特に資格はないが、資質の確保には気を使っている。

業務内容は

- ・移住者の伴走支援
- ・移住希望者の要望に沿った市内アテンドサービス
- ・移住資料の送付
- ・移住・定住支援ポータルサイト記事作成等。

窓口設置後、相談実績及び移住そのものの実績もアップした。

相談件数実績

2022 年度 309 件

2023 年度 362 件

空家情報からポータルサイトへ来る人が多い。

都市圏で開催される移住フェアへの出展をしている。

移住体験住宅を 1 棟令和 2 年に新築した。切れ目なく稼働している。テレワーク対応型の木造二階建て 3LDK。使用料は月 2 万 8,000 円+光熱水費などが 1 万 5,000 円/月



主な質疑答弁

Q. マスタープラン作成後、及びコンサルジュ設置後の実績は。

A. 相談件数は令和 4 年度 309 件、5 年度 362 件。

移住実績は 令和 4 年度 109 件、5 年度 94 件。

Q. シティプロモーションミュージックビデオ「東温ラブストーリー」について、出演者は市の職員か。

A. 東温市在住の監督と当市出身のアイドルが中心だが、市職員や市民も出演している。公開一週間で 6 万回再生。

Q. 移住補助の内容と財源、実績、利用者の意見は

A. 移住者が空家を改修する際に最大 160 万円。解体工事は最大 50 万円。

Q. 移住者で「比較型」、「決め打ち型」の方はそれぞれ何名か。

A. 比較型は 335 名。決め打ち型は 23 名。

Q. 情報発信について、かなり積極的に、また充実した内容と感じる。情報発信の内容

で、移住を決めた方の決め手となった内容はどのようなものが多いのか。

A. 空家バンクが大半。空家情報から定住へつながることが多い。

Q. つなぎ物件のニーズと状況はどうか。

A. 移住体験住宅は多くの応募者がいる。コンシェルジュの面談で選んでいる。

#### 所感

職員さんたちの真剣な取り組み姿勢と、温かい人柄がひしひしと伝わってきた。移住者にとって最初の窓口となるコンシェルジュさんたちも含め、移住候補者に寄り添った姿勢が結果につながっているのではないかと感じた。

また、実際に移住された方たちの声を積極的に発信するなど、情報に説得力があると感じた。

#### 常滑市への反映

全国的な認知度向上は必須である。常滑市では観光の切り口から認知度向上に向けてSNS はじめ様々な取り組みをしているので、観光客の呼び込みから移住の対象へとつながるような戦略があっても良いと考える。

また、東温市のようなコンシェルジュは効果が高いので設置は必要と考える。

## 愛媛県松山市

### 直結給水方式水飲み場

#### 「のめるん」について

令和7年1月29日

#### 対応者

松山市公営企業局 上下水道部

水道担当副部長

仙波 好弘 氏

同部 水道整備課 課長

池田 哲也 氏

議会事務局 次長

野本 克彦 氏

#### 松山市概要

四国最大の人口と地域資源を生かして、観光魅力づくりや活力づくりを目指している。企業立地や創業の支援、農水産物のブランド化や修学教育旅行の誘致を積極的に展開。

令和6年4月1日現在

人口 49万7,887人 世帯数 25万4,862世帯

面積 429.35 km<sup>2</sup>

令和6年度当初予算

一般会計 2,197億円

財政力指数 0.74

議員定数 43人



## 事業内容

大地震発災時にできる限り早く水道水を届けるため、指定避難所となっている小中学校に「応急給水栓」を整備している。簡単な手順とホースで組み立て式蛇口を取り付けられ、地元の自主防災組織などで、いち早く給水所を開設することができる。令和6年度に給水区域内の小中学校75校への整備完了。



応急給水栓

応急給水栓に取り付けるホースや組み立て式蛇口などを収納しているベンチ兼収納庫、災害時は炊き出し用のかまどとなる「防災かまどベンチ」も併せて設置。



防災かまどベンチ

応急給水栓を整備した学校の校門に、避難場所を示す看板に「応急給水拠点」のマークがある。



応急給水栓の整備に合わせて、「直結給水方式」の水飲み場「のめるん」を設置し、いつでも好きな時に安全な水道水で水分補給ができる。また、ミストシャワーもついており、運動会の練習時期等、熱中症対策に活用できる。



#### 主な質疑答弁

Q.「のめるん」の整備費用は？

また、国県の補助はあったか。

A.応急給水栓は一か所 450 万円。「のめるん」

は一か所あたり 550 万円。

補助は国県ともに無し。

Q.整備について注意した点、苦労した事は。

A.施行時期が夏休み中に限られたこと。学校敷地内であることから担当の教員の人事異動で調整や設計の変更が余儀なくされたケースもあった。

Q.防災訓練で応急給水栓はどのように使用しているか。

A.自主防災組織で設置から片づけまで行っている。

#### 感想

応急給水栓の設置は平成 29 年から令和 6

年度までの 8 カ年で総事業費約 6 億 4 千万円かけて整備されたもので、早い時期から水栓の重要性を認識し、実行していたことに感心した。また、整備期間も当初 10 年間で 8 年に短縮したとのことでいち早く成し遂げる医師の強さを感じた。

防災士が 1 万人以上おり、全国でも断トツのトップであること、市内 41 校区、747 組織のネットワーク会議があるなど、市民の防災意識の高さに感心した。

「のめるん」の併設は普段から子供たちに安心安全な水道水の提供ができるとともに、ミストシャワーも設置できており、体育や運動会など屋外での活動時に有益である。また、災害時には同敷地内に応急給水栓がある事を子供たちに日ごろから認知させることにもつながっているのではないかと思う。

#### 常滑市への反映

応急給水栓に関しては、設置運営に自治会や地域住民の協力が不可欠なため普段の訓練から地域住民で行っていることは大変重要であり、見習うべきことであると強く認識した。

また、使用されているピクトグラムは神戸市のシンボルマークとして使用されているもので全国共通のものとする事で認知度が上がると思われるので、本市においても採用されるとよい。

「のめるん」は屋外活動時の水分補給や熱中症対策として有益であり、災害時にも有益であると思われるため、安全な学校施設の一つとして、また、避難所施設の一部としての両面から設置を検討されたい。

## 愛媛県松山市

### 松山観光コンベンション協会の

### 目的と経緯、役割などについて

令和7年1月29日

対応者

公益財団法人

松山観光コンベンション協会

事務局長

窪田 勝彦 氏

同

総務企画部（台湾・MICE 副担当）

権名津 利佳 氏

同

観光物産部 課長

山本 隆司 氏

同

MICE 推進課長

藤本 研之介 氏

松山観光コンベンション協会の推移

昭和24年設立の「松山市観光協会」

と昭和28年設立の「松山市物産協会」

が平成14年に「松山市観光協会」として統合。

平成16年平成の大合併に伴い、同年に北条市観光協会も統合。

平成3年に財団法人松山コンベンションビューローが設立された。

平成17年に両者を統合し、財団法人松山観光コンベンション協会を設立。

平成24年に公益財団法人に移行し、現在に至る。

この間、松山市は平成6年に「国際会議等の誘致の促進及び開催の円滑化等による国際観光の振興に関する法律（コンベンション法）」に基づき、「国際会議観光都市」に指定される。

平成12年には松山市の新行政改革大綱の実施計画の中で「外郭団体について、統廃合等実情に応じた見直しを行う」との方針が示され、15年に検討委員会が発足。

平成16年に、新たに策定された新実施計画の中で「観光及びコンベンション推進事業の充実を図るため、松山市観光協会と財団法人松山コンベンションビューローの両組織を統合し業務を効率的に展開する旨の方針が示された。

コンベンション協会の事業内容として令和5年度新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことにより、国際線の復活や新規就航などをはじめ国内外の旅行者増を受け、松山を訪れた方へのおもてなしや新規誘客事業に効果的に取り組んだ。

「おいでんか松山観光客誘致促進事業」の利用促進や「マドンナ大使」を積極的に現地へ派遣し、他県などが取り組む事業と連携して観光PRやおもてなし事業に取り組んだ。受け入れ事業としてボランティアガイドとの連携や観光案内所での最新情報の提供、物産事業は新たな誘客先として東北地方を見据え、仙台市にて愛媛県や宇和島市と連携し物産展を開催した。コンベンショ

ン事業は関係として連携し各種懇談会を通じ積極的に誘致活動を行うとともに、地元ステークホルダーと一体となったM I C E 推進を図るため指針について取り組んだ。国際交流事業は神輿団体や関係者の協力のもと台北市政府庁舎前、松山慈祐宮前で道後神輿鉢合わせを実施。また、台北ランタンフェスティバルにてP Rを実施。

#### 令和6年度

地元ステークホルダーとの対話を通じて課題や問題点を共有し今後の事業展開につなげる。

#### 観光物産事業は

- ① 受注型企画旅行への補助
- ② 松山マドンナ大使の活動
- ③ 観光キャンペーン
- ④ 物産と観光展の実施（東北）
- ⑤ 観光案内所でのおもてなし
- ⑥ 観光ボランティアガイドの活動

#### 国際交流事業は

- ① 商談会への出展
- ② 台北温泉祭りでの交流
- ③ 台北ランタンフェスティバル出展
- ④ 台北市友好交流協定締結10周年記念事業
- ⑤ 交流を通じた活動による市政府や区への働きかけ

#### コンベンション推進事業は

- ① 誘致プロモーションの本格的な再開
- ② M I C E 地元誘致懇談会のリニューアル
- ③ 県内他都市との連携誘致プロモーション
- ④ 官公庁支援事業の活用  
協会としての今後の取り組みは道後温

泉旅館協同組合はじめ地元ステークホルダーから意見を聴取し協会事業に反映していく。



#### 主な質疑答弁

##### Q.設立時の経緯について

A.平成17年に財団法人松山コンベンションビューローと松山市観光協会が統合して財団法人松山観光コンベンション協会と低設立。平成24年に財団法人に移行。

Q.観光コンベンション協会となったことで新たに可能となった役割や事業はあるか

A.財団として法人格を有し信用が増した。様々な業務を一元的に担っており、事業実施に当たっては効率的に実施できる。

##### Q.協会設立前後で苦労した事は

A.様々な新政や職員の給与体系の違いの調整

Q.賛助会員には松山市以外の組織もいるが、会員の条件や責務は何か。

A.賛助会員は約380社。条件は特に定めっておらず、責務もない。

##### Q.組織内は評議員会があるがメンバーは

A.商工会議所、県職員、大学の先生、地元企業など5名。年に1～2回開催する。

所感

道後温泉や松山城をはじめ多くの観光資源をもち、かつ、規模の大きな都市だけに観光客を迎える体制が充実していると感じた。企画開発、誘客促進、観光物産の3つの委員会や評議員会などは非常に活発な議論が行われていて、事務局側もそれを歓迎している様子が伝わってきた。また、それぞれの委員会には賛助会員が20名から25名ずつが属しているとのことと多くの意見をしっかりと吸い上げていく体制ができていると感じた。

#### 常滑市への反映

松山はMICEを軸にした体制となっているが、本市においても同様に国際展示場への来訪者をメインとする受け入れのための観光協会の体制づくり、組織づくりに取り組んでもらいたい。

また、コンベンション推進と観光物産が分かれていることは重要なことだと考える。

県はもちろん、他市との連携による活動は非常に有効であると考えため本市でも積極的に進められたい。